

ピエール・クロック教授を迎えてのスタッフセミナー

黒 田 美亜紀

2016 年度法律科学研究所共同研究「債権法改正を考える」では、ピエール・クロック教授（フランス共和国パリ第2 大学）を招聘し、下記のセミナー開催を中心に学术交流を行った。なお、クロック教授には、ほかに、11 月5 日開催の法学部50 周年記念において、「フランス担保法改正とグローバル化」のタイトルで第一部基調講演を行っていただいた。

■滞在期間 2016 年1 月4 日（金）～11 月2 日（土）

■第1 回セミナー

日 時：11 月4 日（金）17：00～18：00

場 所：明治学院大学法律科学研究所会議室

内 容：11 月5 日・9 日の講演についての意見交換

■第2 回セミナー（学生向け講演会）

日 時：11 月9 日（水）16：00～17：30

場 所：明治学院大学法律科学研究所会議室

テーマ：法学部生のための特別講義 ―法学教育と法曹、法学者の役割

通 訳：イザベル・ジロドゥ先生（本学非常勤講師）

■第3 回セミナー（研究者向け講演会）

日 時：11 月9 日（水）17：40～19：30

場 所：明治学院大学法律科学研究所会議室

テーマ：「債務法改正後のフランス法における債権譲渡」

Les cessions de créance en droit français après la réforme du droit des obligations

通 訳：イザベル・ジロドゥ先生（本学非常勤講師）

第1 回セミナーは、5 日の記念講演および9 日の講演会の専門的な内容に関する意見交換やすり合わせをフリートークの形で通訳無しで行った。

第2 回セミナーは、主に学生向けに行われた講演会で、本学学生、大学院生、教員など約20 名が参加した。クロック先生自身の経験も踏まえて様々な観点から話していただいたため、日仏の違いを超えて、学生からもさまざまな質問が出された。

第3 回セミナーは、主に研究者向けに行われた講演会で、本学教員のほか、他大学の民事法研

スタッフセミナー

究者、大学院生を含む約30名が参加した。特に担保目的での債権譲渡や債権質に関連して、2016年のフランス債務法改正後の最新の学説・判例の状況を踏まえて詳細な議論が展開され、参加者との活発な議論が行われた。

以上